

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	アプリ児童デイサービス陽だまりの丘	公表日	R8年2月21日		
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		十分広いと思います	別途児童のクールダウンできる場所があればいいと思います
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4	不足時には近くのアブリと相談して調整しています。	職員の体調不良で急に不足してしまう時があるので、補助職員がいると助かる。施設に一人ではなくても各エリアで一人でもいると良い。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	室内に関してはバリアフリー化がされています。危険物は児童の手の届かない場所、鍵のかかる箇所に保管されています。	玄関の階段は身体障害がある児童は難しいと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日清掃・除菌を行っています。おやつや食事前の除菌も行います。	清掃は毎日行っているが、老朽化により設備などの交換が出来ると良い
業務改善	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	児童や状況に応じて事務所などの部屋を使うことで個別に対応することは可能です	他者のある児童など、どうしても難しい場合には事務所で職員と一緒にいることもありますが、他にクールダウン出来る場所があると良いと思う
	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		毎日のミーティング、月毎の研修に参加しています。	パートさんは出社時間が遅くミーティングには参加できませんが、個別に話をしたりミーティングの録画を見ることで情報共有しています
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎年のアンケートで集計し業務改善につなげています。	改善が難しい点をどのように対応するかが今後の課題です。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎日のミーティングや研修でカンファレンスを行っています。	改善後のフィードバック後、会議の中で意見すりあわせの時期を早めています。即効性の必要があるものに関してはミーティングでの話し合いも行います。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		監査役会が社外監査役で構成されています。適時内部監査室との連携でグループ各社の監査を実施し評価しています。	外部監査にこだわらず日頃から評価内容を吟味し施設内での改善につなげていけるよう努めています。
支援	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		サービス責任者・児発管・強度行動障害など受講や社内での研修の機会が設けられています。	研修の内容など職員間での共有を行い、毎月の会議で話し合いを行う等、職員の資質の向上を図っています。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		支援プログラムは職員間で話し合い作成されています。	本社HP上での公表がされており、職員間では共有されています。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		毎月の会議で更新される児童のカンファレンスを行い、レクリエーションや学習内容に反映しています。	児童が飽きることの無いように、極力違うレクリエーションでニーズや課題を達成できるよう支援を行っています。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		毎月の会議で更新される児童のカンファレンスを行っています。	毎月のカンファレンスで話し合い、児童に合わせた目標設定と対応を考えています。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		毎月の会議で更新される児童のカンファレンスを行っています。	児童の成長に合わせ、その都度カンファレンスを行ふ必要があると考えます。達成状況に応じて毎月のカンファレンスで計画の練り直しや訂正を行い共有されています。
アセスメント	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		児童に合わせて標準化されたツール、独自に作成したものなどを用いて確認しています。	的確なアセスメントが確認されていると思われます。ミーティングやカンファレンスでの情報共有も行われ問題ないと思われます。

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	毎月の会議で更新される児童のカンファレンスを行うことで、的確な支援内容が設定されるように努めています。	支援内容においてうまくいかない場合があり、適時変更が必要とされる場合もみられ、短期スパンで支援計画を設定する場合も等もあり、定期的に見直しを行っています。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	会議・ミーティングなどで意見を出し合い、研修で職員資質の向上を行い一丸となって支援を行っています。	人員不足の時など、担当以外の業務が割り振られてしまうこともあります、チームワークで助け合いながら支援が行われていると思います。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	毎日担当者を変えながらプログラムを作成しています。前日、先週などを意識しながら固定化しないように努めています。	児童によっては、継続して学習・レクリエーションをすることで学びやスキル獲得が見られるので、児童によって学習の固定化などを行っています。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	学習やレクリエーションなど、個別に対応できるところでは個人の能力などを考慮し支援を行っています。人間関係の観点から集団活動にも重点をおいて支援を行っています。	他人に興味がない児童などは集団活動に力を入れ、スキル・学習などでは個別に伸ばす必要があると思われます。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	毎日のミーティングで振り返り、打ち合わせを行っています。	パート社員などは出勤が遅いこともあります、伝えられないことがあるため、ミーティングの様子を録画し見てもらえるように努めています。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	毎日のミーティングで振り返り、打ち合わせを行っています。	送迎後の帰所時間が違うため後日のミーティングで行っているので、どうしても情報共有にはラグが生じてしまいますが、緊急性のあるものに関しては連絡ノートで早急に情報共有しています。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	経過票、通所ノート、施設にある連絡ノートで記録を取っています。	通所ノートを活用していますが、一部の職員しか書き込んでいないため、連絡ノートなどを活用して全ての職員が情報共有と改善が出来るよう努めています。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	毎月の会議で更新される児童のモニタリングを行っています。その都度計画の見直しが必要と判断される児童について話し合いの場も持つことができています。	会議の時に名前が上がらず次回の会議に持ち越しになる児童なども見られ、会議前に確認する必要があります。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	支援計画書に基本活動の組み合わせが記載されています。	特に問題はないと思います。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	ルールを逸脱することも散見するため、自己選択であること・できないことを事前に説明し、ルールの中で自己選択が出来るように支援を行っています。	ルールを逸脱することも散見するため、自己選択であること・できないことを事前に説明し、ルールの中で自己選択が出来るように支援を行っています。
関係機	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	管理者もしくは児発管が参加しています。	特に問題はないと思います。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	送迎時などに学校の先生と話をする機会があります。ケースによっては担当医や障害福祉職員との連携もあります。	特に問題はないと思います。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	送迎時などに学校の先生と話をする機会があります。支援学校などでは年間計画をお知らせしてくれるので助かっています。	送迎が遅くなってしまう場合には担任の先生に連絡を行いトラブルが発生しないように努めていますが、保護者様や学校からの連絡漏れがあるときには多少遅れてしまうことはありますが、現時点で大きな問題にはなっていません。
29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	アプリキッズを利用していた児童の利用が多く、施設間で情報共有を綿密に行っています。他の施設や学校からでも担任の先生と話ができる機会を設けています。	特に問題はありません。	

関 や 保 護 者 と の 連 携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		卒業前に移行先へ見学に行き、話をする機会を設けたり、担当者会議などで情報共有しています。	就労先がある場合は作業の内容などを把握し、卒業までに練習を行う機会を設けています。他にも整容や挨拶などの一般常識を学ぶ機会を設けていきたいと考えています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	発達支援センターとの連携を行っています。	研修の機会もありますが、参加が困難な日時が多く参加できないことが多くみられます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	ほとんどありません。公園遊びなどで一緒に遊ぶことはあります。	固定観念や世間一般的の見る目から一緒の活動を断られるケースが多く、交流の機会を断念しています。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	協議会で連絡会を作つて頂いているので、スケジュール上参加が可能な場合には極力参加しています。	日程や時間で参加できないこともあります。管理者や児発管以外の職員の参加も考慮し積極的に参加できるように努めます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		帰宅送迎時にその日のことを話しています。家庭でのことも伝えて頂くことがあります。支援計画更新前には懇談を行い情報共有しています。	帰宅時など時間の制限があり、最低限の会話を終了してしまうこともあります。定期的に話をする機会を設けることができればと思います。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	現在、家族支援プログラムや研修の機会はありませんが、情報提供は行っています。	助言などは行っていますが、研修の機会はありません。今後ご家族様が参加出来る研修の機会なども必要であれば開催を考えます。
保護者 への 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明しています。	十分な時間を取れず説明が不十分な時もありますが、利用を進めてから順次説明が出来るように努めています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		懇談の機会を設けてアセスメントの確認や、児童・保護者の意向も踏まえて支援計画・プログラムの作成を行ってあります。	懇談の機会がない場合もあるため、送迎などの時間に確認をしていますが、十分な時間がとれていない場合もあります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		支援計画書を作成後、児童の現在の状況(モニタリング)も含めて説明しています。	説明に十分な時間が取れない場合もあります。詳細に説明を行い保護者の方から理解をして頂けるように努めたいと思います。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		送迎時に保護者様と話すことがあるので、その都度確認はしています。学校などからも情報を得て必要に応じ相談に応じています。	家庭の問題に踏み込みすぎないよう助言が行える等に注意しています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	3	現在は保護者会、交流の機会ともありません。兄弟同士での交流の機会もほぼありません。	保護者会は行っていませんが、保護者間での情報共有は行われています。兄弟間では他のデイサービスを利用しているため交流する機会はありません。保護者様からの依頼があれば保護者会などを行いたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情については問題の本質をとらえ、早急に対応すると共に職員間での共有を行い再発防止に努めています。	苦情の内容によっては早急な対応ができないこともあります。その都度状況をお知らせしながら対応を行っております。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	特別なイベントなどはお知らせすることもありますが、基本的には活動内容以外はお知らせする事はありません。	ブログは全社的に禁止になったことにより、個別に活動の様子などを発信しています。会社のHPで定期的に療育の様子なども掲載しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		室内の掲示物などには注意を払っています。第三者の目の触れないように個人情報は鍵付き書庫で保管しています。	特に問題はありません
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		児童に合わせて意思の疎通をはかるためのツールなども用いています。保護者様とはお電話やメールにて情報伝達を行っています。	会話のできない児童に合わせてよりよいツールがあればと考え、職員間で独自のツール作成などを行っています
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	地域住民を招待する行事は行っていないが、地域に根差した運営ができるように工夫しています。	イベントへの参加やゴミ拾いなどで地域に根差した運営を行っています。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各種マニュアル類を策定しています。定期的な防災訓練も行っています。	職員への周知は行っていますが、ご家族様へはまだ周知されていない部分があるので、懇談時に話をしたり訓練の頻度を上げるなどで周知を徹底したいと思います。

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		本社の指示により計画を策定し、定期的な訓練を行っています。	日時に訓練に参加できない児童もいるため、訓練の頻度を上げる必要があるとおもいます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		服薬票を作成し管理しています。発作など持病のある児童についてもミーティングなどで情報共有しています。	服薬については服薬依頼書、管理表などで管理を徹底しています。持病などについてはミーティングやカンファレンスで情報共有しています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		アレルギー一覧表を作成しあやつの提供などには注意しています。	一覧表の作成、おやつの分別などを徹底しています。今後はアレルギーのある児童に対し、使う食器などを分けて意識できるように取り組んでまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		計画の作成、研修や訓練など定期的に行い支援が行われています。	安全計画を作成し定期的に実施しております。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		緊急時の対応や救急の手配時などの連絡や方法などをお伝えしてあります。	全てのご家庭に確認していませんが、周知できていると思います。懇談時に再度徹底できるように配慮致します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		発生時にヒヤリハットを作成、職員間で共有しています。全国の店舗ヒヤリハットの共有も行い、自施設で発生しないように注意を促しています。	再発防止は徹底していますが、それでも思ひがけない事故は発生します。危険予知訓練など会議の際に行い事故防止に努めたいと思います。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		委員会や研修で職員にお伝えしています。全国のニュースなどでも発生した事例をその都度共有して発生防止に努めています。	研修でアンガーマネジメントなどを学び、必要な時には対応職員が交代するなどしています。現時点では問題はありません。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		現時点では対象者はおりません。	対象となる児童はいませんが、自傷がある児童についてはご家族様と相談し決めていきたいたいと思っています。